

ハイアット リージェンシー 横浜

横浜市中区

設計・監理／国建
施工／フジタ



開国の地に

かつて湾に面して横に延びていた浜、つまり「横浜」の中ほどに位置する本ホテルは、維新開港の居留地・関内を記憶に留め、無数の開化の碑に囲まれたこの地にふさわしく、東洋と西洋の邂逅をテーマにデザインが進められた。敷地内には大正昭和を生き残った横浜市指定有形文化財「旧露垂銀行横浜支店」が歴史を刻み、現在では結婚式場として保存利活用されている。その旧露垂銀行に接続する形で、世界ブランドのホテル「ハイアット リージェンシー 横浜」を計画した。

街を歩く

通りには、歴史的建造物が建ち並ぶ。低層ファサードは、隣接する旧露垂銀行や歴史的な街並みを引き立てるファサードスクリーンによって基壇を形成している。様式建築は、どっしりとした風格があり質感が豊かなものの、現代的な視点からは、開口部が小さめでやや開放感に欠ける側面もある。スクリーンの背後はガラス面として開放し、ホテルインテリアの質感やアクティビティを対比的に街並みに湧出させて、より活性化しようと考えた。スクリーンにより形成されたロτζィアは、道から建物内部までを多層化し街歩きを楽しめるものにする。

港・横浜

港町横浜は、海からの印象も重要である。エリア最大級の高層バンケットを持つ本計画は、基準階客室層面からジグザグに突出した部分によって港側からの眺望にアクセントを提供する。この部分は、内部から横浜港・ベイブリッジへの眺望軸を確保するために設けられたものでもある。バンケットやチャペルの正面に横浜港を据え、また20階のバンケットホワイエに立てば港と一体となり、上空に浮かぶ。

(有銘祐児／国建)



有銘 祐児……ありめ ゆうじ
1966年生まれ、沖縄県出身。1993年千葉大学工学部建築学科卒業、同年建築計画網大系舎入所。1997年有銘祐児建築設計事務所設立。2007年国建入社。現在、同社建築設計部部長



上／港に望む20階ホワイエ
左上／南側コーナー全景 左下／南西側低層部ファサード



左上／カフェバー・ラウンジ 左下／1階スペシャルティレストラン 右／ロビー吹抜け

インテリア計画

様々な表情を持つ横浜はデザインテーマには事欠かない。近代的な都市でありながらも昔の西洋建築が残り、和洋中多様な文化が共存する港町。有名な公園も多い。これらを網羅して“East meets West”のコンセプトでまとめた。2層吹抜けのロビーには、そこに集いくつろぐゲストのために多種多様なスタイルの家具で構成し、ゲストとゲスト、ゲストとホテル、ホテルと街をつなげる場とした。隣接するバーラウンジのコーナーには直径約4mの円形バーカウンターを配し、その真上には数千個のクリスタルで構成されたシャンデリアがブルーに輝く。石畳を模したカーペットや襷風の壁面、縦格子と共に、あ

る種のノスタルジーを感じさせる。ロビーを挟んで反対側のスペシャルティレストランは赤レンガや公園のガゼボを取り入れ横浜の古い町並みの雰囲気醸し出す。2階のオールデイダイニングは船旅を、3階のクラブラウンジはジャズをテーマにしている。また、客室ヘッドボードの金屏風や漆を使った絵画など、館内のアートにも和洋折衷を取り入れた。

(村井尚登／イリア)



村井 尚登……むらい ひさと
1964年北海道生まれ。1985年インテリアセンタースクール卒業。同年イリア入社。現在、同社プリンシパルデザイナー兼 村井デザイン室室長



バーカウンター



ロビーラウンジ



2階オールデイダイニング



3階クラブラウンジ

